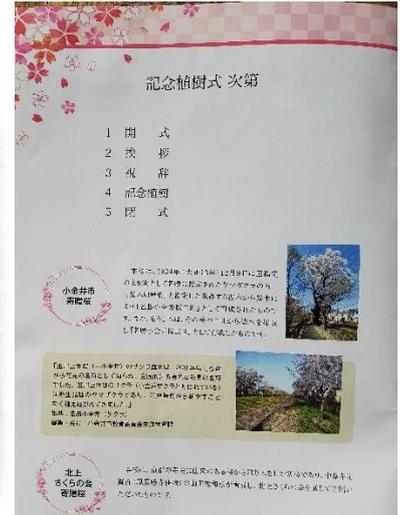


北上展勝地開園 100 周年記念式典出席報告書



2021年11月23日岩手県北上市展勝地開園100周年記念式典に西岡真一郎小金井市長と当名勝小金井桜の会を代表して小沼が招待され、式典への参列並びに小金井桜の植樹式に参加させた戴きました。

当日は、あいにくの冬一番のみぞれ交じりの荒れ模様の天気でしたが150名以上の参列者の中、名勝小金井桜のNo.119とNo.864の古木から杉山利夫当会副会長が接ぎ木により育成し、当会と小金井市が記念樹として寄贈した2本の名勝小金井桜後継樹と山田俊和中尊寺前貫首が育成したカンザクラが植樹されました。



名勝小金井桜No.864



中尊寺カンザクラ

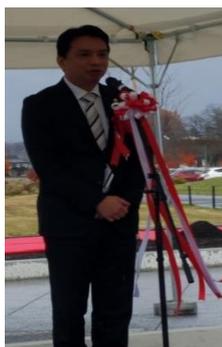


名勝小金井桜No.119

植樹式に先立ち、西岡小金井市長が100年前の三好學博士と井下清東京技師により展勝地公園サクラの園が計画され、国見山の陣が丘に植樹する桜として当時関東随一の小金井のヤマザクラが選ばれ、植樹されたご縁で今では東北三大桜の名所として今日があることを感謝すると挨拶され、市長自身も過去に開園80周年・90周年行事に名勝小金井桜の会会員として参加させていただき、今回小金井市を代表して出席させていただいたことに感謝とご縁を感じると挨拶され、今後北上市と小金井市が益々友好関係を深めていきたいとお話いただきました。



山田俊和中尊寺前貫首



西岡小金井市長



軽石前北上桜の会事務局長



設置された沢藤幸治顕彰碑



「てんしょう君」と共に

盛大に「記念式典」開催される!!



挨拶する高橋俊彦北上市長



約 150 名の参列者による記念式典



功労者表彰の軽石さん・伊藤会長・日本さくらの会浅田局長



サトウハチロー記念館の佐藤四郎さん



基調講演する弘前城公園樹木医の小林勝チーム桜守



記念曲演奏「ゆめみぐさ、まもりて」作曲八木澤 教司氏
演奏 黒沢尻北高等学校吹奏楽部の皆さん



盛大に開かれたレセプション・交流会



北上川から国見山・陣が丘を望む

2021年11月26日報告 小沼 廣和



～2021年に北上市は記念の年を迎えます～

2021年3つの周年記念



展勝地開園100周年



第60回 北上・
みちのく芸能まつり



市制施行30周年

北上市は 2021 年に記念の年を迎えます！

2021年は「展勝地開園 100 周年」「第 60 回北上・みちのく芸能まつり」「市制施行 30 周年」という 3 つの周年が重なる記念の年です。

この記念の年をお祝いするとともに、これをきっかけとして、市民の皆さんがより一層市に愛着や誇りを持つことができるように周年記念事業を実施していきます。

今後、市民の皆さんからも提案をいただきながら事業を進めていくこととしております。また、周年記念事業の情報は随時お知らせします。

市民みんなで記念の年を盛り上げて、記念事業を楽しんでいきましょう。

キャッチコピー **Kitakami Triple Anniversary 2021** (キタカミ トリプル アニバーサリー 2021)

このキャッチコピーを旗印に、各種記念事業を計画・実施していきます。

3つの周年記念

★展勝地開園 100 周年★

市のシンボルであり、日本さくら名所 100 選としても有名な「展勝地」が、

1921 年（大正 10 年）の開園から 100 周年を迎えます。

★第 60 回北上・みちのく芸能まつり★

民俗芸能の宝庫である北上市を象徴するお祭りとして、旧北上市時代から続いている

「北上・みちのく芸能まつり」が 60 周年を迎えます。

★市制施行 30 周年★

旧北上市、江釣子村、和賀町の 3 市町村合併により、平成 3 年に現在の北上市が誕生してから 30 周年を迎えます。

西岡真一郎小金井市長様

名勝 小金井桜の会
会長 小沼 廣和

北上展勝地開園 100 周年イベントに伴う「名勝小金井桜苗」
寄贈に関わる共催事業への取り組みについて

常日頃、名勝小金井桜復活事業に対し格別なご協力を頂き感謝申し上げます。

1921年(大正10年)岩手県北上市の「展勝地公園」を開設するに伴い、小金井桜が移植され現在北東北を代表する桜の名勝地となっている。また、弘前城、角館武家屋敷、北上展勝地は東北三大桜として有名である。

その「北上展勝地公園開設 100 周年記念事業」が 2021 年 10 月 17 日に開催される運びとなった。

これまでに、2001年(平成13年)の開園 80 周年事業に於いては展勝地で育成された「小金井ヤマザクラ」の苗木が当時の稲葉市長に「里帰り」として目録が贈呈され、2007年(平成19年)11月4日小金井橋の袂に当会と小金井市との共催事業として記念植樹植樹された。

また、2011年には「北上展勝地公園開設 90 周年シンポジウム事業」に当会の石田精一元会長がパネリストとして出席するとともに、当会会員がツアーを組んで記念事業に参加した。

開催予定の「北上展勝地公園開設 100 周年事業」に於いて、当会は予めから『名勝小金井桜苗』を記念植樹させてほしいと申し出ていたところ北上さくらの会から快く受諾の返答を頂いた。併せて当日は北上さくらの会としても記念樹を植樹する予定との事であった。

記念植樹する予定の『名勝小金井桜苗』は移植時期の関係で 2021 年 2 月中に北上展勝地に搬送し、仮植えを行う予定である。

なお、現在進行中の『名勝小金井桜復活事業』に於いて植栽した後継樹は、北上展勝地のヤマザクラ古木から接ぎ木により育成したヤマザクラ苗、茨城県桜川のヤマザクラ実生から育成した苗、奈良県吉野山のヤマザクラ実生から育成した苗、及び名勝小金井桜古木から接ぎ木により育成した苗を植栽しているものである。

つきましては、本事業を小金井市との協働事業として取り組みをさせていただきたいと思っておりますので特段のご配慮をお願いします。

具体的には、下記の通りの役割分担により取り組みさせていただければと考えております。

記

1. 当会の役割

「北上展勝地公園開設 100 周年記念植樹名勝小金井桜苗」5本の寄贈

市内杉山造園育成の名勝小金井桜古木からの接ぎ木苗(高さ 3m・幹回り 15 cm)5本を購入し、寄贈する。

2. 小金井市の役割

当会が購入し、寄贈する 5本の「記念植樹苗」を北上展勝地公園管理事務所に搬送する業務一式。

以上

北上展勝地公園



北上市は、市を構成する 16 の地域コミュニティがそれぞれの色に咲き誇り、連携、共生し、人口減少時代にあっても持続的に発展していくことができるまち「あじさい都市」の実現に向け、まちづくりに取り組んでおります。

また、当市は「スポーツで心と体が元気になるまち」を目指し、取り組みを進めており、このたび、来年に開催されるラグビーワールドカップ 2019 日本大会に出場するウルグアイ代表チームの公認キャンプ地となることが決定しました。選手をはじめ、国内外から多くのお客様がお越しになることが予想され、市民一丸となっておもてなしの準備を進めているところです。

さらに、2020 年には東京オリンピック開催、翌年には展勝地が開園 100 周年を迎えます。こうした大きなイベントを絶好の機会として捉え、北上の魅力を積極的に発信してまいりたいと考えております。

4 月と言えば、学校も役所も新しい年度の始まりである。北上市もまちづくり部の新設や農林部と商工部のワンフロア化など、新しい体制で新年度をスタートさせた。いよいよ 16 地区がそれぞれにいきいきと輝く「あじさい型都市北上」に向かって、着実に歩を進めるべく思いを新たにしている。

ところで、皆さんが本稿を読んでいるころは、きっと展勝地の桜が満開になっていることと思う。展勝地の桜は、日本さくらの名所百選、そして弘前、角館と共にみちのく三大桜名所に指定されている。北上川から船に乗って眺める桜並木が最も特徴的な楽しみ方と言えるが、実はこの桜並木は広大な展勝地の入り口でしかない。珊瑚橋から北上川沿いに桜並木を南下すると右手に江戸時代の船着き場と米蔵をイメージさせる展勝地レストハウスがある。多くの露店が所狭しと並んでおり、多彩な山海の幸が売られている。空腹を満たした後は、県道を挟んで東側にある陣ヶ丘やみちのく民俗村に植えられている珍しい種類の桜をご覧いただきたい。その中には 93 年前の開園時に植えられた**小金井ザクラ**も多く残っている。また、陣ヶ丘からの眺望、さらには男山に登って山頂から眺める桜並木も、雄大な北上川の流れと調和して素晴らしい。また、和賀川に沿って奥羽山脈まで広がる平野に多くの桜が点在するのを眺めるのも良い。正しく展勝地の名前の由来にふさわしい視点場である。

さらに時間と体力に自信のある人は、国見山方面へのトレッキングがお勧めだ。裏千本、奥千本の桜も良いが、世界文化遺産、平泉中尊寺建立直前まで栄えていた寺院名不詳国見山廃寺の大伽藍跡を探索するのも面白い。

知れば知るほど奥が深い展勝地、貴方も展勝地「通」になってみてはいかが。

岩手県北上市長 高橋 敏彦

北上展勝地公園の桜

現在、展勝地と呼ばれる一帯は、極めて変化に富む地形であり、大正時代に桜が植えられる以前から県下一の名勝ではあったものの、当時付近の山の木は乱伐され、荒廃するまゝになっていました。このままではこの地が小地方的な景勝地にとどまってしまうという危惧から行われたのが桜の植樹であり、ここを国家的名勝にしようとしたのです。

後の黒沢尻町長（黒沢尻町は現在の北上市の一部）、沢藤幸治氏は大正9年(1920年)に和賀展勝会を起し、桜の権威であった三好学東京帝大教授と井下清技師の指導と設計のもと「和賀展勝地計画」が立てられました。各地に桜の名所は少なくありませんが、その多くは同一種を単に多く植えたものです。しかし展勝地では、その計画段階から各種の桜を植えることが考えられ、この地を空前の桜の名所にしようとしたのです。また、桜の植樹だけではなく、桜は常緑の背景によって一層その美を發揮するので、計画的に赤松など他の樹木も育成したのです。

和賀展勝会という事業団体名は、沢藤氏の親友であった風見章氏が、陣ヶ丘からの眺めがすばらしく、展望のきいた名勝・景勝の地なので、展望の展と景勝地の勝をとって「展勝会」と名づけたものであり、そこからこの地を「展勝地」と呼ぶようになりました。

そして沢藤氏は、原敬首相をはじめ、黒沢尻町・立花村の有志の理解と支援を受け、北上河畔にソメイヨシノの若木を植え、大正10年(1921年)和賀展勝地を開園し、昭和29年(1954年)北上市の市制施行によって和賀展勝地は北上市立公園展勝地と呼ばれるようになったのです。

陣ヶ丘には、花びらが黄色い桜、香りの強い桜など様々な珍しい種類の桜が植えられていて、4月中旬から5月上旬までの長い期間、桜を楽しむことができます。また、眺望は素晴らしく、北上川沿いの桜並木を上から望むことができます。

また、この小高い丘には、数多くの武将が陣を取ったと伝えられており、その武将とは、ヤマトタケル、安倍比羅夫、坂上田村麻呂、源頼義・義家、源頼朝、蒲生氏郷などと言われています。



「北上展勝地開園 100 周年」名勝小金井桜記念植樹寄贈桜の系譜

2021 年 10 月 17 日

小金井市・名勝小金井桜の会

寄贈するこの名勝小金井桜苗は、1924 年(大正 13 年)12 月 9 日に国指定の文化財として名勝指定されたヤマザクラの内、「接木用母樹」と指定した現存する古木から接ぎ木により「名勝小金井桜二世」として育成したものである。

名勝小金井桜文化財登録番号

No. 1 1 9【通称:平右衛門桜】・1 本

この桜は、当会が接木による苗木育成のため「穂木」を採取する現存する古木母樹の内、名勝小金井桜の生みの親である川崎平右衛門定孝の名にちなんで通称名として命名している物です。

川崎平右衛門定孝：1737年(元文 2 年)八代将軍徳川吉宗の命により府中押立村の名主であった川崎平右衛門定孝は、奈良県吉野山や茨城県桜川等のヤマザクラの名品を取り寄せ、小金井橋を起点に玉川上水の上・下流 3 km の両岸に農民たちの協力で約 1 4 0 0 本を植樹し、1 8 0 0 年代には隅田川堤・飛鳥山・上野寛永寺等と並び称される花見の名所となり、お花見の時期には沿岸農民による茶店等での販売により大きな現金収益を上げ生活を潤した。



現存。樹高約 1 2 . 5 m。幹回り約 2 7 0 cm。推定樹齢 1 2 0 年以上。早咲き。赤芽葉。

No. 1 1 9 (通称:平右衛門桜)は過去に下記の場所に記念樹として植樹されている。

- 関野町の農家の方々の菩提寺である真蔵院の境内・川崎平右衛門の供養塔のそばに、2 0 1 6 年 3 月植樹
- 玉川上水に架かる歩道橋が撤去され「平右衛門橋」が開設されたのを記念し橋の袂に 2 0 1 6 年 4 月植樹
- 「川崎平右衛門定孝没後 2 5 0 年」イベントを記念し府中郷土の森平右衛門銅像脇に 2 0 1 8 年 2 月植樹
- 三宅島友好都市並びに武蔵小金井南口広場開設記念として南口交番隣・時計塔脇に 2 0 1 9 年 2 月植樹

「北上展勝地開園 100 周年」名勝小金井桜記念植樹寄贈桜の系譜

2021 年 10 月 17 日

小金井市・名勝小金井桜の会

寄贈するこの名勝小金井桜苗は、1924 年(大正 13 年)12 月 9 日に国指定の文化財として名勝指定された ヤマザクラの内、「接木用母樹」と指定した古木から接ぎ木により「名勝小金井桜二世」として育成し、その後二世から穂木を採取し『名勝小金井桜三世』として育成したものである。

名勝小金井桜文化財登録番号

No. 8 6 4【通称:小金井橋桜】・・2 本

この桜は、当会が接木による苗木育成のため「穂木」を採取時に於いて、当時現存していた古木母樹の内、名勝小金井桜の起点となった小金井橋の袂に在った古木の名にちなんで通称名として命名している物です。

小金井橋：名勝小金井桜は小金井橋を起点に玉川上水の上・下流 3 km の両岸に農民たちの協力で約 1 4 0 0 本を植樹したもので、小金井と小平の市境に位置します。名勝指定の石碑・趣旨看板は小平市域に所在し、海岸寺には「小金井桜樹碑」が立っています。

この桜は、小金井市域の小金井橋の袂に在り、名勝小金井桜の起点のシンボルとして見事な桜花を咲かせていましたが、車による排気ガスや生育環境の悪化により 2 0 1 4 年に枯死してしまいました。枯死寸前のこの桜の穂木を採取し通称「小金井橋桜二世」の育成に成功したのからさらに穂木を採取し育成した「小金井桜三世」です。



2 0 1 0 年時の姿。樹高約 8. 6 m。幹回り約 174 cm。早咲き。緑芽葉



2 0 1 4 年枯死・伐採。

寄贈するこの名勝小金井桜苗は、1924年(大正13年)12月9日に国指定の文化財として名勝指定されたヤマザクラの内、「接木用母樹」と指定した古木から接ぎ木により「名勝小金井桜二世」として育成し、その後二世から穂木を採取し『名勝小金井桜三世』として育成したものである。

名勝小金井桜文化財登録番号

No.789001本

この桜は、陣屋橋から新小金井橋間の南岸に所在し、見事な桜花を咲かせていましたが、2015年に枯死してしまい伐採されました。当会会員が枯死寸前の穂木を採取し、接木による二世誕生に成功しました。その後その二世から穂木を採取し『三世』として育成してきたものです。



2010年時の姿。樹高約5m。幹回り約60cm。中咲き。赤芽葉



2015年枯死・伐採

「北上展勝地開園 100 周年」名勝小金井桜記念植樹寄贈桜の系譜

2021 年 10 月 17 日

小金井市・名勝小金井桜の会

寄贈するこの名勝小金井桜苗は、1954年(昭和29年)紀元二千六百年記念事業として都立小金井公園が開設されたその正面入り口側道に名勝小金井桜にちなみ「ヤマザクラ」苗が植栽された。

その古木の穂木を採取し、接木により育成した二世の苗木である。

都立小金井公園は、面積約 80ha の広大な敷地は都立公園の中でも最大規模で、日比谷公園の 4.8 倍、上野公園の 1.4 倍に相当する。

公園内には江戸東京博物館の分館である「江戸東京たてもの園」があり、東京都内の 高い文化的価値がありながら現地保存が困難となった、江戸時代から昭和初期までの 30 棟の建造物を移築復元し展示している。宮崎駿監督の映画『千と千尋の神隠し』(2001 年)の作画には、たてもの園の銭湯や下町の商家建築のデザインが参考にされた。

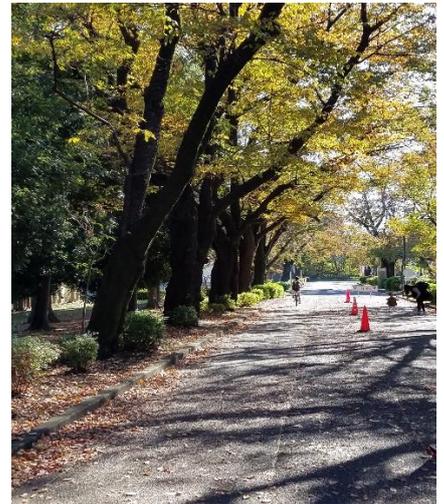
「たてもの園前ヤマザクラ」・・・1 本



たてもの園ビジターセンターを見る



たてもの園入り口のヤマザクラ並木



五日市街道・陣屋橋方面の並木